

青森県の農林水産物 第1位

(平成25年全国シェア・生産量) 資料:農林水産省「作物統計調査ほか」

りんご

全国シェア **55.5%**

収穫量 412,000t

ごぼう

全国シェア **32.6%**

収穫量 51,400t

にんにく

全国シェア **66.0%**

収穫量 13,800t

シジミ

全国シェア **36.6%**

漁獲量 3,342t

ながいも

全国シェア **43.2%**

収穫量 59,000t

ヒラメ

全国シェア **18.2%**

漁獲量 1,400t

イカ類

全国シェア **20.5%**

順位 2位 漁獲量 45,100t

ホタテガイ

全国シェア **10.0%**

順位 2位 生産量 52,000t

ブロイラー

全国シェア **5.2%**

順位 4位 飼育数 6,910千羽

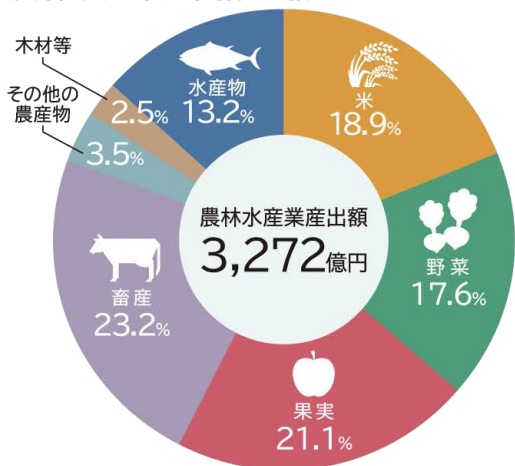
豚

全国シェア **4.0%**

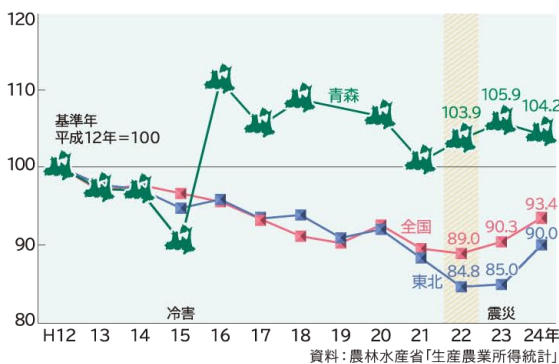
順位 9位 飼育数 388,500頭

まだまだあります! 全国トップクラスの農林水産物

農林水産業産出額の構成比 (平成24年)



農業産出額(伸び率)の東北、全国との比較



農林水産業はこれからも伸び続ける可能性を秘めた青森県の地域経済に貢献していく産業なのです。

※県では人は財たからであると考え、人材を「人財」と表記しています。

全国的生産量の半分以上を占めるりんごを始め、野菜では、にんにく、ながいも、ごぼう、水産物では、シジミ、ヒラメ、イカ類、ホタテガイ、プロイラー、豚、さらには、豊富な農林水産資源に恵まれた青森県の食料自給率は、平成24年度で118%と全国第4位。また、農林水産業の産出額は、3,272億円。平成12年を基準とした農業産出額の過去10年間の伸び率は3.9%と、全国でトップになっています。

そして、青森県の場合、米、野菜、果実、畜産物、水産物が、非常にバランス良く生産されていることが強みです。全国の生産量の半分以上を占めるりんごを始め、野菜では、にんにく、ながいも、ごぼう、水産物では、シジミ、ヒラメ、イカ類、ホタテガイ、プロイラー、豚、さらには、豊富な農林水産資源に恵まれた青森県の食料自給率は、平成24年度で118%と全国第4位。また、農林水産業の産出額は、3,272億円。平成12年を基準とした農業産出額の過去10年間の伸び率は3.9%と、全国でトップになっています。

全国的に農業の担い手の高齢化が進む中、青森県の農業就業人口の平均年齢は、62.6歳と北海道に次いで二番目に若いのも特徴的。元気のあふれる人財が他県に負けない青森県の農林水産業を支えているのです。青森県では、これまで水・土・人などの基盤づくりに力を入れ、強みへとつなげてきました。その強みを生かすことで、農林水産業はこれからも伸び続ける可能性を秘めた青森県の地域経済に貢献していく産業なのです。

豊 豊かな農林水産資源に恵まれた青森県の食料自給率は、平成24年度で118%と全国第4位。また、農林水産業の産出額は、3,272億円。平成12年を基準とした農業産出額の過去10年間の伸び率は3.9%と、全国でトップになっています。

こ のようなバランスのとれた豊富な農林水産資源に加えて、恵まれた生産基盤と元気のある人財が、他県に負けない強みの源です。県が考える農林水産業の基本は、水・土・人。県土の6割を超える豊かな森林がもたらす水資源。全国第4位の面積を誇る耕地は肥沃な土壌。また、少しでも安全・安心な作物を消費者に届けたいと、

全国的に農業の担い手の高齢化が進む中、青森県の農業就業人口の平均年齢は、62.6歳と北海道に次いで二番目に若いのも特徴的。元気のあふれる人財が他県に負けない青森県の農林水産業を支えているのです。青森県では、これまで水・土・人などの基盤づくりに力を入れ、強みへとつなげてきました。その強みを生かすことで、農林水産業はこれからも伸び続ける可能性を秘めた青森県の地域経済に貢献していく産業なのです。

実はこんなにもすごいぞ!

食を支える青森の農林水産業

青森県の食の強さは生産バランスの良さにあります

ラメ、イカ類、ホタテガイ、畜産物ではプロイラーなど、青森県は、全国有数の食料産出県となっています。

年々土づくりに力を入れる農家が増えており、「日本一健康な土づくり運動」に取り組み、土づくりファーマーの割合は、販売農家の約9割にも達しています。「より恵まれた土地で、より良いものを届けたい」と努力を惜しまない生産者こそが青森県の宝です。